

議員の学校（6 時間目）実施要領（案）について

1 目 的

令和 8 年度芽室町議会活性化計画主要事業の一つに掲げた「多様な議員のなり手実現に向けての環境創出」の具体策として、多様な町民が議会を知り、まちづくりへの関わりを考える機会になることを目指して実施することを一つの目的とする。また、議会としては、議会の仕組みや役割、議員の仕事について広く発信し、主権者教育の一環として、次世代の議会を担う人財の発掘と育成につなげることを二つ目の目的として実施する。

2 日 程 4 月～9 月（全 6 回）

- (1) 1 時間目 令和 8 年 4 月 20 日（月）15:00～、18:00～（実施済）
- (2) 2 時間目 令和 8 年 5 月 19 日（火）15:00～、18:00～（実施済）
- (3) 3 時間目 令和 8 年 6 月 25 日（木）15:00～、18:00～（実施済）
- (4) 4 時間目 令和 8 年 7 月 29 日（水）15:00～、18:00～（実施済）
- (5) 5 時間目 令和 8 年 8 月 21 日（金）15:00～、18:00～（実施済）
- (6) **6 時間目 令和 8 年 9 月 29 日（火）15:00～、18:00～**

3 場 所 芽室町役場 3 階（議場）

4 対 象 18 名（9 月 1 日時点申込人数）／出席 昼の部：4 名、夜の部：10 名

5 申込方法 随時受付中（事務局宛）「氏名・住所・電話番号」を連絡

6 実施体制 全議員（受講者によっては議員の出席割振調整あり）

- (1) 受講者に教えるだけの事業ではなく、議員自身が共に学ぶ事業として開催する。
- (2) 受講者全員と全議員が接点を持つ機会とする（「昼」・「夜」の部の受講者全て）。
- (3) 議員個々が説明、答弁、意見交換に臨むことで、多様な議員像を示す場とする。

6 時間目に関して、

昼の部：伊藤議員、橋本議員、中村議員、正村議員

夜の部：小笠原議員、木村議員、中田議員、堀切議員、立川議員、早苗議員
常通議員、西尾議員

* 正副議長、議運正副は両方に出席

7 内 容 「議員になるための準備や実際」／「閉校式」

8 講 師 菊地議会運営副委員長

9 資 料 議会運営委員会で作成（15～20 ページほど）

10 タイムスケジュール

- (1) 講義：60 分、閉校式：修了証書授与、受講者から一言
放課後：30 分（議員控えコーナーで受講者と懇談）

* いずれの日程も 30 分前集合

11 留意事項 別紙参照（議員向け、受講者向け、報道関係者向け）

6 時間目放課後タイム（9 月 29 日開催）

【15時の部】

①阿部さん、類家さん
→伊藤議員、正村議員

②鈴木さん、高橋さん
→橋本議員、中村議員

【18時の部】

①大塚さん、平岡さん、福中さん
→中田議員、立川議員

②飯島さん、横山さん、嶋野さん、益田さん
→小笠原議員、堀切議員、常通議員

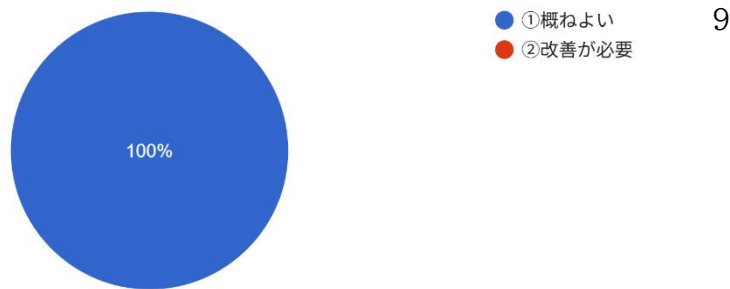
③久保さん、熊谷さん、西村（利）さん
→木村議員、早苗議員、西尾議員

「議員の学校／中間アンケート」集計結果 (受講者：回答9名)

令和8年9月3日現在

1. 運営について(説明、資料、方法、内容、進行、時間配分など)

9件の回答



2. 残り2コマの中で組み入れてほしい内容、聞きたいこと、資料などがありましたらご自由に記載願います。(6件の回答)

- ・初めて町議会議員選挙に出馬するにあたり、何から始めればよいのか必要な事に付いて説明を頂けると有難いです。
- ・新人議員さんの議員になってみての色々や、ベテラン議員さんの議員を続けてみての色々、感想や意見、経験談など聞いてみたいです。
- ・立候補の手続きの方法や、公職選挙法について知りたいです。
- ・①議会の今後の議題となる事項の説明(嵐山・芽室公園等) ②農村における議員活動事例 ③町議会議員となるまでの準備すべき事項
- ・これまで4回に渡り、授業計画、授業の準備、検討いただきありがとうございます。参加する中で、確実に町議会、議員のみなさんとの距離は近づいたことを実感しています。特に7月の会計の話が自分の中で一番難しい内容でした。午前の部では、参加されたみなさんの関心事がちょっと偏ったかなあと感じ、私はなかなか発言出来なかったと思いました。議会や議員のやっていること、役割、活動を知れば知るほど、大変な活動だという印象が強まりました。これらの大変な活動を支えているものは何なのか。また、議員をやってみようと思えるものは何なのか。今月の議員報告会で参加者からの的外れな指摘に真面目に答える議員のみなさんの真摯な姿勢には頭が下がるとともに、住民の質の低さがとても残念で、最後の最後に、つい感情的な発言をしてしまい、申し訳なく思います。さて、5回目の学校では、「議員のやりがい」について参加者と一緒に議員のみなさんと考える機会を与えていただけたら嬉しいなあと思います。前回、今回と議員の学校に視察があったこと、どれだけ芽室町議会が注目されているのか、それだけ素晴

らしい議会であることを意外に地元住民は知らない、気づいていないと思います。議会の努力が足りない謙虚にお話しされる議員さんもいますが、地域住民が「まちづくり」に参加していない、できていない。だから「外」から見える景色と「内」から見える見え方が違うのだと思います。私は「住民自治と議会」をテーマに参加してきました。「みんなで創る」をどう実現するのか、芽室町議会の意気込みも聞いて見たいなあと思います。尚、9月の学校は私用で道外に出ております。最終講義に参加できないこととても残念ですがどうぞご容赦ください。

- ・その日に実施される内容の簡単な資料で良いのでほしいです。

3. 全体を通して、改善点や反省点、ご意見等がありましたらご自由に記載願います。

(8件の回答)

- ・今回の芽室町の議員の学校開催に付いては、大変素晴らしい事だと思います。これからも町議会議員のお仕事に付いて町民に判る様にする事も大切かと思います。
- ・新人議員さんの議員になってみての色々や、ベテラン議員さんの議員を続けてみての色々、感想や意見、経験談など聞いてみたいです。
- ・座学に加えて議員の皆さんと議場でお話しすることで、議員の仕事の解像度がグッと上がりました。特に、女性議員の皆さんとのフリーストークでは、「議員って実際どうなの？」と率直で等身大の経験談をお伺いでき、盛り上がって楽しかったです。
- ・「放課後」のディスカッションがとても楽しいです。議員さんたちも、とても好感が持てて、話も聞いてくれてとてもいい時間を過ごせていただいています。学校の真の魅力は放課後にあるのかも知れないと思いました。「夜の部」はどんな雰囲気なのかも気になっています。学校だよりとか学級通信の発行で様子が知れると嬉しいなあちょっと期待します。忙しいのは承知していますので無理な願いをするつもりはありません。このような機会をいただけて、一町民としてとても幸せに思います。感謝!!
- ・数日前に届く開催案内文書について、次回の題名等の記載があっても良いと思います。(最初にもらった時間割案内に記載はありますが…) 準備やモチベーションに繋がりますのでご検討ください。総合計画審議委員会の日程と被らない日程調整をお願いします。放課後タイムや、議員の方々との懇談もとても有意義だと思います。ワークショップ形式等で今後に向けた意見出しもあって良いかと思いました。全体を通して…新たな試みの議員の学校。参加させていただき、議員の皆さまの色々を知ることができて、とても勉強になっています。今後も継続して開催できたら良いと思います。
- ・議会の学校の継続開校を希望します。議員の皆様は、一年中お忙しく活動されている事を理解しておりますが、広く住民にこの「議会の学校」に参加して頂き、少しでも「なり手」の人材育成に繋げて頂ければと想います。
- ・たいへん分かり易い説明で良かったと感じています。ただ、議員報酬と議員定数の説明

会の町民との質疑・意見交換会は今一つ内容（質問者の意図と回答がうまくかみ合っていないなかったのでは？）がうまく町民に伝わったのか疑問でした。

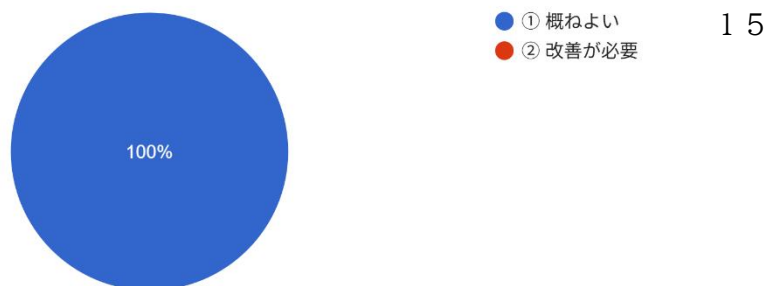
- ・ 毎回、準備対応をお忙しい中ありがとうございます。今まで知らなかったことに気づけたり、意識する視点が変わったりしています。放課後の時間は会話の中から、町の問題についての気づきもあり、楽しく参加させていただいています。

「議員の学校」 5 時間目を終えてのアンケート集計結果 (議員：回答 16 名)

令和 8 年 9 月 3 日集計

1. 当日の運営について（説明、資料、方法、内容、進行、時間配分など）

15 件の回答



2. 全体を通して、改善点や反省点、ご意見等がありましたらご自由に記載願います。 (8 件の回答)

- ・ 議運正副には膨大な資料作成、大変ご苦労様です。解りやすくとても良いです。
- ・ いい授業でした。担任の先生お疲れ様でした。議会としての総論と感じました。私自身、勉強になりました。放課後の時間も有意義でした。音更町から参加されている生徒さんからの、「芽室町に住みたいと言っている方々いますから。」との言葉をいただきました。色々と活動をされている生徒さんだと思いました。
- ・ 放課後の時間は毎回盛り上がっていていい時間のなっているのではないのでしょうか。こうした議員と対話できる機会というのは「議員の学校」だけではなく創出していくことも必要かと思います。
- ・ 今回は「議会活性化」をテーマに、議会基本条例や活性化計画、政策サイクル、住民参画、広報広聴、議員研修、ICT など幅広い内容を扱いました。情報量が多く、やや駆け足になった部分もありましたが、質疑を通して制度の背景や実際の運用まで掘り下げることができた点は良かったと思います。特に、政策提言がどのようにまとめられ行政に反映されるのか、行政と議会の意見交換会の違い、政策討論会が十分に機能していない現状、議員研修の成果をどう評価するのか、生成 AI や ICT を議会としてどう扱うのかなど、資料説明だけでは見えにくい課題について率直な意見交換ができました。議会の取組を「できていること」だけでなく、「まだ十分できていないこと」も含めて伝えられたことは良かったと思います。一方で、取組を数多く紹介したため、一つひとつの説明が浅くなったところもありました。今後は制度や取組の紹介を少し絞り、「町民の声を聞く→委員会で調査・議論する→政策提言する→町政に反映される」といった具体的な

事例を中心に説明すると、議会活性化が町民の暮らしにどうつながっているのか、より分かりやすく伝えられると思います。また、高校生との意見交換や主権者教育について多くの意見が出たことから、受講者の関心が高いテーマだと感じました。議会の仕組みを説明するだけでなく、「なぜ議会がそこまで取り組むのか」「その結果、町民や高校生にどのような変化があったのか」という成果まで示せると、さらに理解が深まると思います。放課後タイムについても、議員と少人数で率直に話せることを評価する声があり、議員を身近に感じてもらうという「議員の学校」の目的に合った取組だと感じましたので、今後も継続してよいと思います。全体として、今回改めて感じたのは、議会活性化は取組を増やすこと自体が目的ではなく、町民の声を政策につなげ、最終的に町民の暮らしや福祉をより良くするための手段であるということです。今後も「何を実施したか」だけではなく、「それによって何が変わったのか」という成果を意識しながら、議会活性化を進めていく必要があると感じました。

- ・一般的には、議会の活動を真摯に聞き理解してもらったと思う。
- ・放課後の時間が好評と聞いています。生徒が自ら聞きたいことを聞く場が大切であり少数グループで議員との懇談の場が重要と思いました。よく出来ている構成になっていると思います。
- ・テキストのボリュームがあって説明にはしよった感じがありました。

3. 今後の「議員の学校」の開催のあり方について、ご意見等がありましたらご自由に記載願います。(毎年開催、隔年開催、4年に1度の開催など／回数、時期等)

(13件の回答)

- ・今回、初の取り組みだったが選挙区関係なくの生徒募集を考えたら(各自治体の選挙年のズレ)隔年開催が良いと考えます。
- ・6時間目の授業を終えてからの「あり方」の検討で、私は良いのかなと考えます。
- ・「議員の学校」としては選挙の前年に今回のような形式で行うのがいいかなと思います。毎年の取り組みとして「議員アカデミー連続講座」的な感じで3回程度実施できると主権者教育の取り組みとしていいのではないのでしょうか。
- ・「議員の学校」は、議会や議員の役割を知ってもらうだけでなく、議員と町民が継続的に関わり、率直に意見交換できる機会として意義があると感じています。一方で、全6回程度の講座を毎年開催することは、運営側・参加者双方の負担も大きいため、現在のような本格的な「議員の学校」は2年に1回程度の開催が適当ではないかと思います。特に4年に1回では、議会との接点が途切れる期間が長く、主権者教育や将来の議員のなり手づくりという観点からも機会が少ないと感じます。隔年であれば、前回の反省や受講者の意見を次回へ反映しながら、内容を更新して開催できると思います。回数については、今回のように段階的に議会への理解を深めていく構成には意義がありましたが、参加者の負担を考えると、4～5回程度に集約することも検討してよいと思います。制

度や仕組みの説明に時間をかけるより、実際の議会で扱った事例、議員とのグループワーク、模擬的な政策形成など、参加型の内容を増やすことで、回数を減らしても内容を充実させられるのではないのでしょうか。また、今回「放課後タイムで議員と話せたことが良かった」という声もあったことから、講義だけではなく、少人数で議員と自由に話せる時間は今後も重視した方がよいと思います。開催時期については、議会日程や参加者の生活を考慮しつつ、毎月1回程度で数か月にわたって開催する現在の方式は、継続して関係を築けるという点で良かったと思います。将来的には、「議員の学校」を単発の講座として終わらせるのではなく、修了者がその後も議会モニター、意見交換会、議会活動などに関わることでできる仕組みまでつなげていくことが重要だと思います。

「議会を知ってもらう場」から、「町民が議会やまちづくりに継続的に関わる入口」へ発展させていければ、より開催意義が明確になると感じます。

- ・今回実施している議員の学校は「議会の仕組みを説明する場」への評価もさることながら参加者からは議員との交流（放課後タイム）の評価が高かったです。そのことを踏まえた事業実施ができればよいと考えます。他の手法で住民ニーズが担保できれば学校は任期中に一度でもよいと思います。
- ・4年に一度の開催。今回のように開選前の年度開催がベターと思う。5
- ・主権者教育と言う観点から考えれば隔年開催しても良いと思います。
- ・改選時、新人議員の学びにもなるような内容で開催すると良いと思います。
- ・今回は、なり手対策の一環として主権者教育に位置付け取り組みましたが、今後も議員間で協議し、アカデミー講座的に継続出来ればと考えます。
- ・来年度の改選状況を見て考えては。
- ・4年に1度改選前の開催で良い
- ・議員の学校は4年に1度、